

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ地方)	在リヨン出張駐在官事務所 リヨン日本人会治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 他	2009年6月30日	2009年6月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び在リヨン出張駐在官事務所ルート	
調査項目：	① 邦人対象の治安情報 ② テロなどの一般治安情報 ③ 今月の出来事 ④ その他の情報		

報告要旨

1、邦人対象の治安情報

- A、 一般的傾向
- B、 地区別 犯罪集計結果：補足文書1
- C、 多発の手口と場所の特定、防止策：補足文書2
- D、

A, 一般的傾向

[補足文書1]

B, 地区別 治安情報集計結果

今月は、警察の空き巣対策が効を奏してか、空き巣の件数が大幅に減少しました。6月12日には、リヨン北部のリューRillieuxで大掛かりな取締り、点検が実施されました。これは第1四半期の大幅な空き巣被害上昇を受けて行われたものです。(プログレ紙6月13日)

今回の統計から新しく夫婦間暴力の項目を付け加えました。邦人に対する直接の問題ではないですが、社会的な傾向として増加しています。

全体的な傾向としては件数で見ると先月に続き、Villeurbanne ヴィルールバヌ、ヴェニシュエー、ブロン、8区、3区、リュー、ヴォー・アン・ヴランなどリヨン東北部で全体の過半数を占めています。(下記統計参照)。

酔っ払い、SDF (ホームレス) などに関連する暴力事件が多くなっているのは、旅行客の増える夏季の傾向かもしれません。

新型インフルエンザ (豚インフルエンザ) は夏の高気温にも関わらず依然として減少を見せていません。その上、27日の報道では、インフルエンザに有効とされる **Tamiflu** に対して耐性をもつウイルスがデンマークで発見されていますので、今後も注意が必要でしょう。

2009年6月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	リヨン東	リヨン西	リヨン南	リヨン北	アノ県	イザール県	ロワール県	合計
すり		2															2
空き巣		1	1			1				2			2				7
置き引き			1								1						2
引ったくり									1								1
万引き																	0
強盗	1	1	2	1	1	1	1	2		2	3	1	2				18
窃盗(車・自転車)								1		3				1			5
カージャック										1			1				2
車内盗難																	0
猥褻行為・強姦																	0
いたづら電話・迷惑																	0
脅し・暴力行為	3							1		4			6				14
詐欺(カードなど)			1					1		1		1	1			1	6
拉致・誘拐																	0
破損・放火							1	1		1							3
ストーカー																	0
麻薬取引・所持																	0
飲酒／無免許運転																	0
夫婦間暴力								2		2		1					5
軽犯罪		1						2			1						4
合計	4	5	5	1	1	2	4	8	1	16	5	3	12	1	0	1	69

備考欄：
 リヨン東→Meysieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons
 リヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon
 リヨン南→Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison
 リヨン北→Rillieux, Vaulx-en-Velin, Décines, Caluire, Genas

* 数字はプログレ紙に掲載された軽犯罪の記事の数で、統計的な意味はありません。

[補足文書 2]

C, 多発の手口と場所の特定・防止策（新聞による報道記事から）

① 夫婦間暴力

- 6月5日、リヨン8区で、32歳の男性が、妻を蹴って暴力を振るったとして逮捕された。
- 6月2日、ヴィルルールバンヌで31歳の男が、妻を殴りナイフで脅したとして警察に逮捕された。
- 6月8日、サンフォン Saint-Fons の男性32歳が、妻を殴り殺してやると脅したとして逮捕された。

今まで夫婦間暴力はタブー視されて、水面下の暴力事件として社会的に葬られてきた傾向がありますが、1994年、2006年の法的な整備と政府の対策などにより、新聞などの報道も増えてきました。社会的にはイスラム女性の犠牲者が多いとされていますが、日本でもDVと呼ばれる同様の傾向が見られるように、単に宗教、歴史的な背景から来るものと片づけることはできません。また、結婚しているカップルだけではなく、PACS、同棲といった様々な形態のカップルの間の暴力も厳しく取り締まられています。傾向としては、30代からの若者のカップルに集中していることが挙げられます。大半は男性側の暴力ですが、女性が男性に暴力を振るう場合も見られます。

問題のある場合、あるいは目撃した場合は3919番へ電話、あるいは <http://www.stop-violences-femmes.gouv.fr/>でも情報が得られます。言語の問題がある場合は、領事館（出張駐在官事務所）や日本人会などに相談するのも良いかもしれません。

② 空き巣対策

2009年第1四半期における全国での空き巣の件数が前年比で5%増加し、警察が対策に乗り出しました。この統計では件数から見るとローヌ県は全国第7位、イゼール県が第1位となっています。この統計には個人住宅対象で会社などの空き巣は入っていません。ローヌ県では凡そ1000件のセカンドハウスも含めた住宅の空き巣が発生しており、多発しているのはエキュリー、タッサン、フランシュヴィル、サンジュニ・ラヴァルなど西部の高級住宅地区となっています。警察では不審な車などに注意を呼びかけていますが、最近では下見には公共輸送のバスなどを利用して赴き、勧誘の営業マンなどを装って下見宅を訪れるケースが多いといわれています。また、夫婦共働きで昼間は不在の家などを狙って下見するともいわれています。特にこれからバカンスシーズンを控え、警察では警戒を呼びかけています。短時間でも戸締りをきちんとし、夜間は暑いときでも窓などの戸締りをして就寝しましょう。夜間就寝中に空き巣に遭うケースも少なくありません。夏季の長期不在の場合は、最寄の警察に届けておくと時々見回りにきてくれることもあるそうです。

- ルーマニア人の姉妹（12歳と14歳）が、カリユールで逮捕された。ドライバーで空き巣盗難を犯した直後に、近所の人の通報で逮捕。衣類と現金を盗んだ疑い。カリユールでは最近数件の空き巣盗難が発生していた。（プログレ紙6月15日）
- 6月11日、ヴェニシューに住む33歳の男が、ビデオカメラと現金の盗みで逮捕された。そのほかに数件の盗難を行った疑惑が寄せられている。（プログレ紙6月12日）
- 6月23日夜、8区で空き巣強盗を犯したホームレスが逮捕された。
- 6月19日、2人の未成年の少女が2区のアパートのドアをドライバーで壊して侵入し盗難を働いたとして逮捕された。宝石類と現金を所持していた。
- 6月4日、6区に住む宝石商のアパートが荒らされ、5万ユーロ相当の宝石類が盗まれた。日中に起きたもので、誰もいない時間帯を狙った空き巣と見られる。
- ヴィルールバンヌに住む19歳の男2名が、6月10日、隣のアパートの扉を壊して侵入しようとして逮捕された。
- 29歳の男が2区の店舗にガラスを割って侵入し、洋服などを盗もうとして逮捕された。（6月11日）

③ 暴力・窃盗事件

暴力を振るって物品を奪い取るというケースが多発しています。盗難品として多いのは、特に携帯電話、現金、クレジットカードなどです。路上で特に高級な携帯電話を使用する場合は、注意が必要でしょう。

- 6月25日、パリからリヨン行きのTGV内で暴力を振るって携帯を盗んだ17歳の男（3区在住）が、リヨン駅に到着した時点で逮捕された。
- 今年の2月にカルノ広場で発生した暴力窃盗の犯人が逮捕された。25歳の男性が、携帯電話とウォークマン、クレジットカードを奪われ、暗証番号も強要され2回の現金引き出しが行われた。犯人の25歳と28歳の男が逮捕された。
- 6月16日昼過ぎに、8区の路上で暴力を振るい携帯電話を奪われた。
- 6月6日、7区の路上で金の鎖を20歳の若い女性から奪ったとして、17歳の3人の少女が逮捕された。
- 6月25日、3区の路上で29歳の男が、38歳の女性から携帯電話を奪って逮捕された。

- 3区の路上で、23歳の男が63歳の男性から携帯電話を奪った。(プログレ紙6月3日付)

④ カード、小切手に関する窃盗

- スーパーのレジに客が忘れたカード番号を使ってインターネットで買い物をしたかどで30歳の女性が逮捕された。(プログレ紙6月20日付)
- ウーランに住む50歳の女性が、義父の姉妹の小切手を盗み、自分宛の名前に変えて入金して逮捕された。(プログレ紙6月25日付)
- サンディディエ・オ・モンドールの33歳の男が、金額を書き換えた小切手を銀行に持ち込んで逮捕された。(プログレ紙6月17日付)
- ロワール県のガソリンスタンドの女性が客のクレジットカードを悪用し、10名の客から総額2000ユーロを奪った疑いがもたれている。(プログレ紙6月13日付)

⑤ 夏場に発生しやすい事故2件

- ヴェニシュールにて、バーベキューの火で10歳の少女が火傷の怪我。消えそうになった炭火にアルコールをかけたところ、近くにいた少女に引火し火傷した。

夏季の屋外でのバーベキューでは、特にガソリンやアルコールなどを使用しない、近くに燃えるものがないことを確認、強い風、乾燥している時などは移り火に十分に気をつけましょう。

- 6月14日、ヴィルールバンヌで53歳の男性が、自転車に乗っていて車と接触事故をおこして転倒し、重症をおった。(6月15日付けプログレ紙)

VELO'Vの自転車で移動する人が増加し、自動車と自転車の共存が問題になっていますが、一方通行無視、信号無視など、自転車側の違反も目立ちます。違反が見つかった場合は罰金に処せられます。また、大事故のつながる恐れもありますので、最低限の交通法規は守りましょう。Velo'vのサイトで、道路交通法などがわかりやすく説明されています。

<http://www.velov.grandlyon.com/Protection.30.0.html>

2.テロなどに関する一般治安情報

特になし。

3.在留邦人の被害事例

ローヌ＝アルプ・オーベルニュ地方における在留邦人の被害報告は特になし。(在リヨン出張駐在官事務所ソース)

4.リヨン、ローヌアルプ地方今月の出来事 (抄)

新型インフルエンザ (豚インフルエンザ) 患者、ローヌ県で9人 (6月26日現在)

- ローヌ県にて9人目の豚インフルエンザ患者が見つかった。16歳のコレージュの生徒で、海外への渡航の経験はない。病状は軽く、学校も閉鎖されていない。(プログレ紙6月2

6日付)

感染した疑いがある場合は、まず「15番」に電話するように心がけましょう。

以下は、6月の経過状況です：

6月5日：2名の海外からの旅行者が陽性と判明。

6月12日：国際保健機構がパンデミック感染対応レベルをアップ。欧州は平静な対応。

6月20日：政府が患者発見時の対応策を変更。この時点でフランス国内の患者数は133人。

過去の数字：

1918～19年：スペイン風邪で世界で4千万人の死者

1957年：アジアを中心に400万人の犠牲者

1968年：香港風邪で200万人

2002年：S R A Sで800名の犠牲者

2003年：鶏インフルエンザで250人

2009年4月24日現在：A型インフルエンザで144名の死亡者

5.その他の情報

秋から駐車違反の課金が一部3倍に

秋から、駐車料金が値上がりします。現在市が検討中の内容は以下のとおりです。

中心街の住民向けの駐車料金は値上げされ、外部からの駐車に来る人を優遇する傾向があります。時間当たりの駐車料金は変わりませんが、住民向けの駐車料金が月14ユーロから16ユーロになります。罰金は、駐車有効時間後2時間越えた駐車違反が現在の11ユーロから35ユーロに。住民用駐車権利は、現在一家族に複数台認められていたのが、一家族1台のみとなる予定があります。